

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 5 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	身体拘束をしないケアの実践では現状では拘束を行うことなくケアが実施されているが今後に向けて具体的な行為を正しく理解することや意見の下指針を整備する。	生き生きとした生活を送るため拘束ゼロの介護を目指す。	月に1度の高齢者拘束・虐待についてのミーティング及び3か月に1度の身体拘束廃止研修を開催し拘束をしないケアについての理解を深めている。	3ヶ月
2	26(10)	介護計画とモニタリングでは家族や本人の意見が上手く聞くことが出来ていない。	モニタリングで介護計画を見直しその人らしい暮らしの支援ができる計画を作成する。	よりよく暮らせるために、個人のヒアリングや何気ない会話での思いを察し、「私の姿と気持ちシート」の記録を更新すると共に、変化にも気づけるよう家族様の意見を聞き取り組む。	6ヶ月
3	36(14)	利用者の尊厳を大切に思いに寄り添うことを心掛け、それぞれの利用者に応じた対応ができる支援。	その時々々の状態把握に努め、その人の立場に立った対応を行う。 共同生活の中でのプライバシー確保、個人差を大切に思う支援の重要性を理解する。	接遇・マナー研修で意識を深め、コミュニケーションの技術や利用者を深く知るため 開かれた質問で広がり期待できるよう心掛けることを意識する。	6ヶ月
4	11(15)	三度の食事では栄養面や摂取量が気になり完食していただくよう様声掛け促し介助する。	食事の時間は何よりも楽しい時間です。摂取ではなく喫食していただく。	食事の時間は何よりも楽しい時間です 食事の時間を楽しめるようBGMを流したり、食べ物のお話をしたり空腹を満たすだけでなく気持ちも満たせる様、工夫し美味しく楽しい時間をつくる。	12ヶ月
5	48	役割や楽しみを持つ時間を個別に持つことは工夫が必要で限られた時間で行うことは同じ利用者が同じ作業になりマンネリ化している。	できないは気にしない。 利用者それぞれの好きなことに挑戦する。	職員からの新しい意見を全て反映させ取り組む。 できないと思ってたことが出来ていたり 気づきが増える。昔遊びや、球技など取り入れている。参加できない人にも応援していただき参加の楽しみを分かち合う。 施設内での軽作業もお願いしている。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。